




雷鳥

小さな愛おしい命

高橋広平 / 廣瀬和弘

南アルプス市芦安山岳館

 南アルプス
ユネスコエコパーク

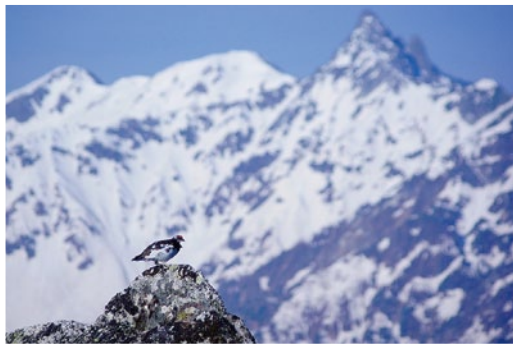
北アルプス



高橋 広平

高橋 広平(たかはし こうへい)

1977年、北海道苫小牧市生まれ。2007年、雷鳥と出会い、独学で写真を始める。2013年、第4回田淵行男賞にて岳人賞を受賞。雷鳥写真家。雑誌などで作品を発表し、環境省や長野県などの雷鳥保護に関わる企画などに写真を提供している。現在は安曇野を拠点にして、「雷鳥とその生態系」というテーマのもと、多様な被写体と「個」と「個」として向き合っている。日本自然科学写真協会(SSP)会員。長野県自然保護レンジャー、雷鳥緊急保全対策事業・調査協力員、ライチョウサポーターなどに所属。
<http://kouheitakahashi.com>



南アルプス

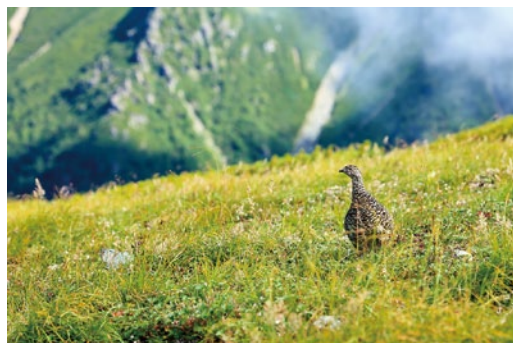


廣瀬 和弘

Photo by NatsumiSuzuki

廣瀬和弘(ひろせ かずひろ)

1965年山梨市生まれ。南アルプス市在住。南アルプス市観光商工課ユネスコエコパーク推進担当。2007年南アルプス世界自然遺産登録推進協議会設立時より担当として携わり、2014年10市町村を取りまとめユネスコエコパーク(生物圏保存地域)の登録へ導く。2004年—2007年まで南アルプス北部のライチョウ調査に従事、協力。その後独自にライチョウのモニタリングを継続実施。日川高校生物部で大菩薩の植生調査がきっかけとなり、山や野生動植物の調査や写真撮影を始める。日本イヌワシ研究会に入会後は国内のイヌワシの調査や保護活動に明け暮れ、2001年山梨県オオタカ生息分布調査をはじめ、数多くの猛禽類調査や保護問題に従事。日本イヌワシ研究会会員 公益社団法人日本自然保護協会会員。



雷鳥

小さな愛おしい命

世界でも例をみない、豊かで多様性に富んだ生態系が形成されている南アルプス。昨今様々な要因でそのバランスが崩れようとしている。特に国の特別天然記念物「雷鳥」はこの30年間で半減したといわれている。「知ることは守ること」を合言葉に小さな愛おしい命を次の世代に引き継いでいくために、雷鳥の特徴や生態を紹介する。

平成29年6月10日(土)～平成29年10月24日(火)

午前9:00～午後5:00 毎水曜日休館 7月16日～8月31日までは無休
入館料のみ 大人(中学生以上)500円 小人(小学生)250円

主催 南アルプス市 山梨日日新聞社 山梨放送
後援 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局
産経新聞甲府支局 テレビ山梨 芦安ファンクラブ

南アルプス市芦安山岳館

山梨県南アルプス市芦安芦倉1570 市営芦安駐車場付近
☎055-288-2125
ホームページ <http://www.minamialps-net.jp>

